



第69号

●主な記事

平成28年度行事のご案内
支部・同期会・OB会だより
母校近況・寄贈図書

平成28年6月20日発行
一般社団法人 長野高等学校金鶴会
事務局 ☎(026)235-3822
発行人 鶩澤 正一
編集人 桃林 聖一

URL
<http://www.kinshi.org>
E-Mail
dousoukai@kinshi.org

ご挨拶

会長 鶩澤正一

新緑の季節を迎え、長野の山々は目にまばゆいばかりです。会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、長野高校SGH事業に対する支援の募金について、前号の「日新鐘」で700万円を超えたと報告いたしましたが、その後も100万円を寄付してくださる方もおり、日新館事業からの資金も繰り込み、総額1,011万5,699円（平成27年度分）に達しました。心より御礼申し上げます。5月9日、長野高校校長室を訪れ、目録という形で全額を学校側に贈呈いたしましたことをご報告申し上げます。

また、同窓会費については前回、値上げのお願いを申し上げました。今年度より3,000円会費になります。学校へ多額の寄付は実現できましたが、同窓会本体の財務基盤は厳しく、今年度より高6回の皆様が会費免除の年齢を迎え、以降続々と高納入率を誇る学年が会費免除となっていきます。どうか若い世代の皆様にも、かつて現役であった頃を思い出し、今度は後輩を支援する立場に立って、ご協力を賜りますようお願いします。同窓会では、クラブ活動支援のための金鶴賞の授与やさまざまな活動支援を



行っておりますが、資金さえあればもっと多くの支援事業をしたいと考えております（例えば、学校では近年、購買もなく食堂の営業も途絶えているようです）。

平成31（2019）年度には、創立120周年を迎えます。それまでのあいだに少しでも積み立てをし、長野高校に一定の支援を実現できるよう図って参りたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

同窓会費振込用紙をコンビニ・郵便局対応にしました。

今年度より、これまでの振込用紙から、コンビニと郵便局で振込ができる用紙に切り替えました。これまでより利用しやすくなると思います。コンビニでご利用の場合はレジにお持ちください。住所変更等を通信欄に記入される場合は、郵便局をご利用ください。また、郵便局でお振込みの場合は、できるだけATMをご利用いただければ事務局としては助かります。

（手数料は事務局負担です。窓口 130円 ATM 80円）

口座振替の方は6月27日（月）に引き落としとなります。

銀行口座へのお振込みには、同封の用紙は使用できませんので、直接下記の口座へお願ひいたします。

八十二銀行 長野北支店

普通 133722

一般社団法人長野高等学校金鶴会

長野信用金庫 城北支店

普通 0031958

一般社団法人長野高等学校金鶴会



旧制中学第8代校長とSGH

校長 大井 基成

昨年度の入学式は、桜がちょうど開花した頃でしたが、今年度は、昨年以上に暖冬だった為か、満開の桜が新入生を祝福しました。全日制281名、定時制19名の新入学生を迎える、全校生徒903名で平成28年度がスタートしています。

以前この会報で校長室にある佐久間象山肖像画のことを書きました。プレッシャーは前方のその肖像画の視線の他、後方からも感じています。後方には第17代小山壽一校長、第18代中村公雄校長といった直接私の上司であり指導いただいた先生をはじめ、歴代校長の氏名木札が額にずらっと収められています。

『長野高校百年史』には三好愛吉初代校長に纏わる「神聖なるピアノ」のことなど、時の校長の足跡が記されています。その中で、旧制中学第8代若槻道隆校長についての記述に目が留まりました。「1925年(大正14)11月、若槻道隆校長は台湾視学官に任じられて長野中学校を去った」とありました。スーパーグローバルハイスクール(SGH)に文科省より指定され3年目になります。2年生全員の台湾研修が実施され、昨年度私も同行しました。生徒にとって、近隣とはいえ海外であり、また、台湾高校生の英語力や積極性に大いに刺激されるなど収穫多い研修となりました。本校と台湾の交流が強まる中、本校校長が台湾

にも足跡を残していることを知り、改めて台湾との繋がりの縁を感じました。若槻校長のことを調べると、旧制中学第1回の本校卒業生でもあることや、本校を去ったのち、「台湾総督府内務局文教課視学官」等を歴任し、現在台南にある国立成功大学の前身に当たる台南高等工業学校の初代校長に就任していることがわかりました。日本による台湾統治という状況下ではありますが、本校ゆかりの人物が、海を越えて活躍していたことにある種の感慨を抱いた次第です。

生徒諸君がSGHの活動を一つのきっかけとして、グローバルに活躍する人材として羽ばたくよう、今後とも教育活動を展開してまいる所存です。

末筆となりますが、同窓生各位には、SGH基金に多額のご寄附をいただいたことに心より御礼申し上げますとともに、今後とも母校に対し変わらぬご支援をいただくようお願い申し上げます。



平成27年度 長野高等学校教育設備改善のための委員会 会計報告

収入	(単位:円)
募金総額	8,115,699
日新館事業より	2,000,000
合計	10,115,699



台湾研修旅行、高雄大学にてペナント交換

支出

(単位:円)

ICT環境整備 PCリース代、ノートPC&ソフト他	1,646,028
フィールドワーク交通費補助	27,320
生徒派遣費	35,000
印刷費 募金振込用紙印字料、ペナント印刷費	131,785
雑費 募金振込手数料他	185,730
次期繰越金	8,089,836
合計	10,115,699

今後の支出予定

上記支出項目の他、今年度より実施される善光寺グローバルサミットや指定期間終了後のグローバル教育推進まで見据えて活用していく方針です。

母校近況

平成27年度金鶴賞 長野高校クラブ活動近況

長野高等学校金鶴会では、同窓生の皆様からいただいた会費をもとに、現役生のクラブ活動を支援するため、今年も総額40万円の金鶴賞を活躍した班に贈呈しました。

(以下、おもに北信越・全国大会以上の成績を記載してあります)

1. 金鶴優秀賞

・ECC班 10万円

〈全国高校生英語ディベート大会〉3位

2. 金鶴優良賞

・弓道班 4万円

〈新人県〉男子団体3位

〈新人北信越〉男子団体出場

・野球班 4万円

〈全国高等学校野球選手権長野大会〉ベスト8

〈秋季北信越高等学校野球長野県大会〉ベスト4

〈選抜高等学校野球大会

「21世紀枠」長野県・北信
越推薦校)



・軟式野球班 4万円

〈北信越地区高等学校軟式野球長野県大会〉4位

〈長野県高等学校軟式野球秋季大会〉3位

〈秋季北信越大会〉出場

・定時制運動班 5万円

〈バドミントン北信越大会〉

女子県選抜選手として出場

〈バドミントン全国大会〉

女子県選抜選手として出場

〈卓球北信越大会〉女子県選抜選手として出場

3. 金鶴奨励賞

・陸上班 2万円

〈総体北信越〉

女子7種競技3位、1500m 6位、3000m 6位

〈インターハイ〉

女子7種競技14位、1500m出場、3000m出場

〈新人北信越〉男子400mH 4位、5000mW10位、

4×400mリレー出場、女子5000mW12位

・文芸班 1万円

〈俳句甲子園県予選〉2位

・女子バレーボール班 1万円

・女子バスケットボール班 1万円

・合唱班 1万円

・管弦楽班 1万円

・吹奏楽班 1万円

・羽球班 1万円

・囲碁・将棋班 1万円

〈全国高校囲碁選手権全国大会〉男子個人出場

〈高校囲碁新人戦北信越大会〉女子個人3位

・かるた班 1万円

〈北信越高等学校かるた選手権大会〉

県選抜選手として出場、3位

・ソフトテニス班 1万円

〈総体北信越〉男子個人出場

・華道班 1万円



4. 金鶴特別賞

個人を対象に19名の生徒に賞状と記念品を贈りました。

○ 文芸班の句会について

3年6組 松永桃佳

私たち文芸班は二年ほど前から、2週間に一回程度、OBの方々と句会を行っています。始まったきっかけは、私たちが俳句甲子園の全国大会に出場した記事が新聞に載ったことで、その記事を目にとめたOBの方が「一緒に句会をしませんか」と声をかけてくださいました。俳句を始めたばかりで右も左もわからなかった私たちにとって、この話は頼ってもないことでした。

句会では、まず、事前に出された兼題で作った自分の句を短冊に写し、その短冊を数枚ずつに分けて別の紙に全員が清書し、その清書したもの全員に回し、自分の気に入った句を選句用紙に書き出します。清書が全員のところに回り、最初に決められていた句数を選んだら、選句用紙を司会に渡します。次に司会は各々が選んだ句を読み上げますが、自分の清書した紙に読まれた句があったら、返事をしてマークを付けます。全員の選句を読み上げたら、ここからが句会の本番。自分の選んだ句のどこがいいか、なぜそれを選んだか、またはなぜ選ばなかったのか話し合っていきます。自分の句の悪いところがわかるので、手直しする際や今後句を作るときに意識して気を付けるようになるので、とてもためになります。また、OBの方々の句は作り方や表現方法が洗練されていて、こんな句を作れるようになりたい！と毎回切に思います。

句会を始めた当初は「ひよっこ！」だった私たちも、何回も句会を行っていくうちに、少しずつ自分たちの伝えたいこと、詠みたいことを詠った句を作れるようになってきました。例えば「消灯す帰り支度の隣の夜」と、ただ自分の状況を説明しただけの句を作っていた友人が「飴色の机の傷や卒業歌」と光景から広がる余韻や情感を表現した句を詠めるようになりました。もちろん、まだまだ改善すべき点は数多くありますが…。こうして自分たちの句を成長させることができたのも、ひとえにOBの方々の協力あってのことだと思います。これには感謝をしてしきれません。本当に、毎回ありがとうございます。

今年の俳句甲子園の結果がどうであれ、この句会のつながりは続けていきたいと思っています…。それでもやっぱり勝ちたいです。目指せ本戦、目指せ松山。頑張ります！



金鶴会館2階教室にて句会

○ ディベート大会のご報告と金鶴賞受賞の御礼

ECC班 班長 3年2組 中島優里

このたび平成27年度金鶴優秀賞をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。

私たちECC班は現在総勢35名で活動しており、年間を通して英語ディベートや英語キャンプ、レシテーション(朗読)に取り組んでいます。班員同士の仲も非常に良く、日々充実した時間を送っています。英語ディベートでは12月の全国大

会に向けて数ヶ月間準備や練習をするなど、特に力を注いでおり、第10回全国高校生英語ディベート大会において3位入賞することができました。

英語ディベートの試合では、肯定側と否定側が決められた時間内で討論を行い、ジャッジに對して自らの主張に説得力があることを資料や

データを用いて示します。全てのスピーチが英語で行われるのはもちろんですが、各試合で肯定と否定の立場が変わるため、準備段階で両方の立場の主張を用意する必要があることもこのディベートの特徴です。今回の議題は「日本国は、自衛隊の参加制限を緩和し、国際連合の平和維持活動 (PKO) に、より積極的に貢献すべきである。是か非か」でした。

私はこの英語ディベートを通して、知識を得ること、様々な立場から物事を見ること、そして攻撃的にならずに論理的かつ平易に伝えることの重要性を学びました。これらは試合に勝つためのみならず、この先、ひとりの人として生き、人と関わり合い、意見を交わす上でも、とても重要なことだと思います。ECC班という班活動に加入し、本気で取り組んでこられて本当に良かったです。

また、我が班においては、まだ経験の少な

い1年生の多くが登録選手として大会に参加し、優秀ベストディベーター賞をもいただけたことは今後の大きな励みとなると感じています。これで私たち3年生は班活動を終えますが、2年生には昨年度の経験を活かし1年生と共に更なる高みを目指し、伝統を作っていくってほしいです。

本当にありがとうございました。



3年目を迎えたスーパーグローバルハイスクール事業

SGH事業推進係 白鳥美香



米国リーダー研修、ミルバーン高校にて交流

5年という期間で文部科学省から指定された本校のスーパーグローバルハイスクール (SGH) 事業が、今年で3年目を迎えました。7月7日(木)・8日(金)には、3学年でSGHを選択したSGH第1期生を中心となって「善光寺グローバルサミット」を開催し、一つの完結を迎えることになります。

2年目の昨年度、2年生は「課題研究(最終)発表会」とそれに続く「台湾研修旅行」という、学年全体で取

り組むSGH事業の総括にあたる事業を実施しました。「台湾研修旅行」では、クラスごとにGoogle Apps等で交流を重ねた高雄市の7つの高級中学に分かれ、全員が課題研究や英語プロジェクトのプレゼンテーションを行いました。さらに、日台の高校生同士がペアを組んで半日を過ごし、他国の人々とわかり合える実感を体験できた結果、多くの生徒が、異文化との、英語でのコミュニケーションに対する抵抗感が減少したと答えています。この研修に当たっては、長野県観光課をはじめ関係各方面のご協力をいただきました。

また、今年の3月には昨年同様、海外交流アドバイザーの指導の下、生徒が主体的にプログラム作成に参加する形での「米国リーダー研修」が1年生40名により実施されました。文科省予算の関係もあり、昨年より2日間期間を短縮せざるを得なかつたためきつい日程になりましたが、生徒はハーバード大学や現地高校でかけがえのない経験を重ねてきました。

この研修でもニューヨーク在住の本校卒業生が駆けつけ、生徒に直接、海外生活の体験を語ってくださるなど多くの方のご協力をいただきました。

2年間を振り返ると、優秀な生徒が集まるとはいえ、オーソドックスな普通科を堅持してきた本校にとってこの事業の導入はたやすいことではありませんでした。しかし、生徒と教員が知恵を絞り長野高校方式と言えるような形が出来上がってきています。もちろんその周囲には、校内外の多くの方々の支えがあり、中でも「長野高等学校教育設備改善のための募金」という同窓会の皆様の支えなしにこの事業は成り立たません。今年度、新たに18台のノートパソコンを購入したことで、一人1台パソコンという環境

で課題研究を進めることも可能になりました。今までの授業では見られなかったような成長を遂げている生徒が現れてきていることをご報告し、感謝申し上げるとともに、あらためて今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。



台湾研修旅行 岡山高級中学校にてプレゼン

支部・同期会・OB会だより



東京長高金鶴会総会

東京長高金鶴会が平成27年12月5日(土)に都内のホテルで行われた。出席者は約100名で、母校長野高校大井基成校長、同窓会(金鶴会)市川浩一郎副会長、桃林聖一事務局長も長野から駆けつけ、この会への期待の大きさを感じた。

毎年この時期に総会を行っているが、土曜日ということで2時間の講演会も行い、異なる分野の話に耳を傾けた。

第一の講演者は石坂弘紀さん(高44回)で事業再生

請負人としての生々しい話に引き込まれた。石坂さんは通産省入省後、産業再生機構に関わり、あの有名なライブドアの再生を行っている。ホリエモンが無理な事業拡大で破たんさせた会社に社長として乗り込み、法律知識も駆使して機敏な動きで再生をしている。ホリエモンは須坂に収監されていたが、東京では長野高校出身者がこの会社の始末をしたと言える。企業買収に関わったことがある筆者に

とっても、そのスピード感は特筆されるべきものを感じた。才口元最高裁判事との質疑もあり、長野高校ここにありの講演だった。

二番目は、誰にも来る終末をどう迎えるかを中島修平さん(高21回)が多くの実体験をもとに語った。中島さんは牧師であり、ご夫人が医師でお二人で長年にわたり多くの人たちを救ってきている。とかく暗くなりがちな話と思われがちだが、さすがに分かりやすく時には笑いも交えて、記憶に残る講演だったと感じた。

その後の総会は事業、会計報告及び計画の承認を



長野高校剣道班OB

行った。今後も年2回の講演会を行っていくことになる。

母校の状況について大井校長から詳しく説明があったが、その後には参加者からもっと現状を知りたいと質問も飛んで、母校への愛情を感じる一場面でもあった。市川副会長からも、母校が時代の流れに沿って変革をしてきており、同窓会としても寄付などで応援をしている旨の説明を受けた。寄付については有志の尽力に期待をしたい。

なお、今回役員改選が行われ、二年前に会長に就任した中村健さんは退任し、新たに柄澤康喜さん(高21回・三井住友火災海上保険社長)が会長に選任された。柄澤新会長からは(当日先約で欠席)「縁と絆を大切に会の発展に尽くしたい」とメッセージが寄せられた。この東京における同窓会は今から100年ほど前(1919年)に、柄澤新会長の勤務地でもある神田淡路町から始まっており、その縁を感じる会長就任となつた。中村会長は副会長に戻り、会を支えることも了解された。

懇親会は一時間半ほどで、そこここに話の輪ができ交流を深め、「山また山」、「信濃の国」の齊唱も行われ、大いに盛り上がる中、再会を期して解散となつた。

(高22回 中村 健)

長野高校剣道班OB新年会

恒例の長野高校剣道班OB新年会が今年も「レスト

ランやま」で1月2日(土)に開催され、今回もシニアの方々と若手の合同で19名出席のもと、盛大に行われました。

今回は20年ぶりに19回生の内山一彦さんが出席され、また26回生の酒井博さん(飯山高校剣道班監督)が7段鍊士になられたことが披露されました。4月には30回生の山口康弘さんが長野中央警察署の署長になられ、36回生の大草務さんは長野日大の剣道班監督として3月の県大会で優勝されました。ますます長野高校剣道班OB諸君の活躍がしのばれます。

(剣道班OB会会長 高20回 青木茂人)

山岳班OB会

平成28年1月2日(土)、例年のように山岳班OB会が長野駅近くのレストランで開かれました。

長く顧問を務めていただいた中尾順悟先生のご出席を得て、総勢12人が昔の話や近況報告に盛り上がりました。中には今でも年に何回もトレッキングに出かける山好きもあり、その話を聞けばどの人の目も輝く、そういう私たちなのです。

また、山岳班OB会では春の妙高山登山も恒例となっており、昨年も6月13日(土)・14日(日)に素晴らしい天気の中、快適なハイキングを楽しみました。今年も多くのOBのご参加をお願いします。

(高24回 三上英人)

高13回 東京長高三六会 平成28年度新年会

新年会は8組当番幹事の準備万端、1月15日(金)にグランドヒル市ヶ谷にて盛大に開催されました。今回は同期生の年齢・体力等を考慮し、かつ、ゆっくり懇談をしてもらうために、思い切って昼12時開始、しかも、全員テーブルに着席するビュッフェ形式のランチパーティー新年会に切り替えました。8組幹事会の決断と新企画が功を奏したのか、新年会新記録の71名もの同期生が集まりました。関東近県を中心に、長野から14名、関西からは高坂昌利君、高田英磨君並びに梅津利治君が駆けつけて花を添えてくれました。

当番幹事8組を代表して森山和君が歓迎挨拶をした後に、幹事の斎藤宣博君が北信濃の郷土史『千曲川を走る「太左衛門船」と千曲川通船の歴史』を講演しました。

講演は斎藤家に現存する江戸時代中期の古文書を元に、名主斎藤家が寛政2年(1790)に千曲川の福島(須坂)～西大滝間に開設した「太左衛門船」による船運の実態と明治初期までの北信濃の船運史をパワーポイントに纏めて、プロジェクターを用いて分かりやすく話してくれました。僅か15分の短い講演でしたが、懐かしい北信濃の、しかも思い出が一杯詰まった千曲川に纏わる郷土史は大きな感動を呼んだようです。準備した古文書類コピーは忽ち底を尽き、新

年会が終わるまで斎藤君は大勢の仲間から更なる解説を求められて満足に料理を味わえなかったほどです。

続いて各地区及び同好会報告です。長野地区小林哲男君からは同窓会の現況報告と共に、同窓会費値上げを理解して欲しいと要請がありました。9組梨本修造君からは昨年秋に山田温泉で開催した長野同期会の当番幹事を代表してお礼挨拶がありました。続いて関西地区高坂昌利君から関西長高同窓会の現況報告があり、最後に東京三六会ゴルフ会須田裕之君から年々盛んなゴルフ会の年次報告がありました。

その後、新年会初参加者の近況報告を交えながらクラスごとに記念撮影が行われました。新年会も佳境となったところで恒例の元応援団リーダー五明則保君の音頭と口上で校歌「山また山」と県歌「信濃の国」を齊唱。続いて次回新年会当番9組幹事代表の村田長生君から「来年もこの場所で昼間の開催を企画したい」と、更に、秋の長野三六会当番1組幹事代表の中村和貴君と2組幹事代表の三俣隆男君からは「1、2組共同で卒業55周年に相応しい記念同期会を開催するので東京からも大勢の参加を」と力強い表明がありました。最後に全員で記念撮影をし、池田裕幹事の閉会挨拶と五明君の一丁締めで幕を閉じました。

引き続き、一次会で物足りない面々41名が参加して同会場で二次会を開催しました。ランチタイム新年会は参加者からも好評で、「来年も」との意見が多



高13回 東京長高三六会



松本金鶴会

数寄せられました。加えて今回は幹事徳永房和君自慢の信州リンゴがデザートとして振る舞われ、参加者から感謝の声が多数寄せられました。

(幹事 荒木寛隆)

松本金鶴会

「第3回松本金鶴会」が平成28年2月4日(木) 松本市の梅風閣にて、31名の同窓の皆さんが集まり開催されました。

前回参加者の皆さんによる職場や同業のお仲間へのお声掛け、また前回日新鐘の当会開催記事のお陰もあり、高8回から高62回までの幅広い年代が一堂に会しました。

開会に際して、松本金鶴会会長、(株)市民タイムス代表取締役社長の新保力さん(高11回)からご挨拶をいただき、最年長の佐々木博康さん(高8回)のご紹介ののち、副会長の(株)五千尺代表取締役会長の藤澤繁雄さん(高11回)の乾杯で開宴となりました。

恒例の近況報告・全員スピーチでは、それぞれの時代の想い出や現況が楽しく披露され、ご都合によりご参加叶わなかった岩波酒造合資会社、代表社員小岩井高さん(高20回)から差し入れられたお酒も大いにいただき、時間を忘れるほど盛り上がりを見せました。

実は今回、本校の春の甲子園出場を祝う予定で日程を設定したのですが、惜しくも機会を逃しました。今後も松本平から大いに応援いたします。

結びに、副会長の(株)日本廣告代表取締役社長の池田紀夫さん(高11回)による中締めのご挨拶のあと、応援団OBによるエールに続き「山また山」の合唱で散会を迎えました。

松本金鶴会は、本拠地が松本平にある、あるいは異動で松本平に職場のある同窓生などで構成され、冒頭に記しました通り幅広い年代による柔らかな集いです。

第4回は7月末頃開催の予定です。

(高31回 金子智雄)

長野県庁金鶴会総会

平成27年度の総会は、3月17日(木)、青木弘会長(高



長野県庁金鶴会

28回) のもと県民文化部が幹事を務め、県庁近くのホテルで開催されました。来賓として大井基成校長先生、高島陽子県議会議員(高39回)をお招きし、約90人が出席しました。

総会では、決算・予算の承認などの議事、母校への寄付金贈呈に続き、大井校長先生から母校の様子を伺いました。文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール」の指定を受け、国際的に活躍できる人材を育成する取組を行っていること、大学入試において、難関大学をはじめとした大学進学を勝ち取っていることなどをお話しいただきました。現役の皆さんの活躍をお聞きし、大変頼もしく思いました。

懇親会は高野健光八十二銀行県庁内支店長(高36回)の発声で開宴。管理職から若手まで楽しく歓談する光景が会場全体で見られ、庁内の異分野・世代間交流に一役買っています。

締めは、応援団OBの柿崎茂君(高49回)の指揮のもと、「山また山」を出席者全員で声高らかに歌いました。私も久しぶりに「山また山」を歌い、数十年前の高校生活を懐かしく思い起こしました。

長野県では、地方創生に向けて、昨年度、「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略～信州創生戦略～」を策定しました。安心して働ける長野県、希望する結婚や子育てができる長野県、人を惹き付ける魅力ある長野県を目指し、県民の皆様の力を合わせ「オール信州」で取り組んでまいりますので、同窓の皆様のご協力をお願いいたします。

(高42回 加藤康治)



高6回

してきた「六期会」であったが、各方面から「もう一度顔合わせを」との要望が寄せられ、地元の同期生による懇親会を4月22日(金)長野駅前「油や」で開催し、総勢31名の参加を得て1年半ぶりの再会に話が弾んだ。

年度が改まり全員が80歳の年輪を数えてなお18歳の高校時代の話題に事欠かず、あちこちに爆笑の渦が湧き、そんな雰囲気に共に少年時代を過ごした友人たちの友情に感謝したいと思った。

一昨年の総会以後、幽界に旅立った友人を幾人か見送りました。特に故清水啓介氏は医師として地域医療に貢献し、平成26年秋の叙勲で「旭日双光章」を受章し、天皇陛下と拝謁の栄に浴されました。地域の方々の話をお聞きしましたが、日常の医療は当然、夜間早朝の緊急の往診にも気軽にかけられ、医師会の仕事とともに大変な貢献がありました。本当に惜しい人を、そして我々同期の友人を亡くしたと思い、他の故人の方々と共に同期生一同深くご冥福をお祈り申し上げます。

また、1週間ほど前に起きた熊本の地震による大災害に話題が集中し、幸いにして大きな災害に出遭うこともなく80歳の今日まで生かされてきた自分たちの幸運に感謝したいと皆が思いあつた次第であった。

「友情は最高の情熱であり、捨てるにしても最後に捨てるべき情熱である」(ポナール)。またの機会まで身体をお厭いいただき再会を期したいと思います。同期の諸氏それまで。

(竹花純夫)

高6回 六期会春季懇親会を開催

ことのほか早く訪れた今年の春に、城山公園から眺める桜に囲まれた母校が280余人の新入生を迎える輝かしく眺められた。

一昨年秋、卒業60周年の総会を機に一応の区切り

市民大学事業のご案内

古代史講座

主催：科学研究費補助金（基盤研究（S））「日本目録学の基盤確立と古典学研究支援ツールの拡充」研究プロジェクト
協力：一般社団法人 長野教育文化振興会
於 金鶴会館大講義室

2016年 続・古典を読む－歴史と文学－「よみがえる戦国時代・1」

第1回 4月23日（土）

愛知大学 文学部 人文社会学科 教授 山田 邦明 先生
「日本史の中の戦国時代」－転換期の人と社会－

第2回 5月14日（土）

東京大学 史料編纂所 画像史料解析センター・中世史料部門
准教授 金子 拓 先生
「長篠の戦いと真田家」－大河ドラマ「真田丸」以前の真田家－

〈次期講座予定〉 受講を希望される方は、同窓会事務局までご連絡ください。

続・古典を読む－歴史と文学－「日本の世界遺産を読み解く」

7月2日（土）

北海道大学名誉教授 石塚 晴道 先生
「世界遺産京都高山寺の文化財」－経蔵を中心として－

7月16日（土）

大阪市立大学大学院 文学研究科 准教授 磐下 徹 先生
「上野三碑の語る世界」－その地域性と国際性－

7月30日（土）

福岡県企画・地域振興部 世界遺産登録推進室
主任技師 大高 広和 先生
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群－古代の交流と祭祀－

第3回 5月28日（土）

東京大学 史料編纂所 中世史料部門 准教授 黒嶋 敏 先生
「秀吉の天下と善光寺如来」－アジアの視点から－

第4回 6月11日（土）

東京大学 史料編纂所 前近代日本史情報国際センター
教授 鴨川 達夫 先生
「信長から秀吉へ」－主役交代、そのころの世の中－

8月27日（土）

奈良女子大学 古代学学術研究センター
特任教授 館野 和己 先生
「世界遺産としての古都奈良の文化財」－今に息づく古代のこころ－

9月17日（土）

東京大学 史料編纂所 画像史料解析センター
古文書古記録部門 教授 高橋 敏子 先生
「世界記憶遺産『東寺百合文書』」－國家の寺、地域の寺－

10月1日（土）

明治大学大学院 文学研究科 特任教授 加藤 友康 先生
「世界記憶遺産としての『御堂関白記』」
－藤原道長と平安貴族の世界－

Science Café

金鶴会館サイエンスカフェのご案内

今年度のサイエンスカフェは、あらためて再生可能エネルギーについて考えてみようと思
い、下記の内容・日程で実施します。会員の皆様、P T Aの皆様、現役生徒、一般市民の皆様、
どなたでも参加できますので、どうぞお気軽にお越しください。

◇9月24日（土） 午後2時～4時

演 題 「アフリカにおける再生可能エネルギー地方電化の動向」

講 師 湯本 登 先生（高22回）（株）エネルギー環境研究所代表取締役

現在は主に国際協力機構（JICA）のコンサルタントとして開発途上国の再生可能エネルギー開発等を支援



◇10月15日（土） 午後2時～4時

演 題 「太陽光発電と最新の太陽電池技術」

講 師 市川 幸美 先生（高22回） 国立研究開発法人科学技術振興機構

「革新的な研究開発拠点形成事業」研究総括補佐
東京都市大学 客員教授



◇10月22日（土） 午後2時～4時

演 題 「自然エネルギーの地産地消による地域の活性化～長野県での事例紹介～」

講 師 小田切 奈々子 先生 自然エネルギー信州ネット事務局コーディネーター

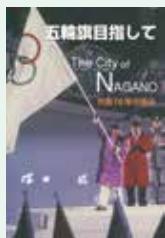
一般社団法人自然エネルギー信州パートナーズ代表理事

○会 場
金鶴会館2階大講義室
○参加費
それぞれ 500円 (お飲み物付き)

寄贈図書



野望の旅路
著者 今井功一(梅沢功一)氏(高2回)



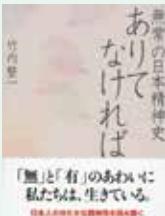
五輪旗目指して
The City of Nagano 市長16年の歩み
著者 塚田 佐氏(高6回)



医療・福祉の総合情報誌
JAPAN MEDICAL SOCIETY
2015年12月号、2016年1月号～5月号
野村元久氏(高10回)寄贈



房総と江戸の交流史
著者 土屋 浩氏(高14回)



ありてなければ
「無常」の日本精神史
著者 竹内整一氏(高17回)



「やさしさ」と日本人
日本精神史入門
著者 竹内整一氏(高17回)



すぐに役立つ!
発達障害の子がいる保育園での
集団づくり・クラスづくり Q&A
著者 福岡 寿氏(高28回)



宗教と政治の転轍点
保守合同と政教一致の宗教社会学
著者 塚田穂高氏(高51回)

ご寄付をいただきました。

◆高4回東京四期会の皆様より27万7,015円のご寄付をいただきました。

ありがとうございました。何らかの形で、現役生徒に還元できるよう活用させていただきます。

平成28年度 同窓会総会のご案内

期 日 平成28年6月25日(土)
会 場 ホテル国際21
総 会 午後2時～ 藤の間
講 演 会 午後3時～ 藤の間
演題 「大空の世界～我ら航空自衛隊～」
講師 航空自衛隊 第35警戒隊長 2等空佐
相澤 司氏(高33回)
懇 親 会 午後4時30分～ 千歳の間
会 費 5,000円 当日受付でいただきます。
*今年度の当番は、高33回・高45回・高57回の方々です。
*出席される方は事務局へお知らせください。

回期別対抗ゴルフコンペのご案内

期 日 平成28年9月19日(月)
場 所 長野カントリークラブ TEL 026-239-3100
費 用 プレーデ13,000円(食事付き)
※優待券は使えません
参 加 費 3,000円
競技方法 新ペリア方式
☆団体戦：各回期上位3名までの
団体合計成績順位
☆個人戦：個人別成績順位
申込方法 はがき又はFAXで同窓会事務局へ各回期3名以上
の連記(2組以上も可)でお申し込みください。
締切り日 9月5日(月) *25組で締め切ります
※各組のスタート時刻、その他詳細については9月12日頃、
参加者にご連絡いたします。



- 卒業20周年の同窓会(高48回・平成8年3月卒)は、8月14日(日)ホテル犀北館にて午後5時より開催されます。
- 卒業50周年の同窓会(高18回)は、7月10日(日)ホテルメトロポリタン長野にて午後2時より記念撮影、記念式典、4時より記念祝賀会が開催されます。
- 今年度より同窓会費3,000円をお願いすることになりました。事務局としても皆様からお預かりした会費を有効に利用するべく一層努めて参りますので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。また、コンビニ対応の振込用紙を同封しましたので、ご活用ください。
- 住所変更等の連絡は、メール (dousoukai@kinshi.org) または電話 (026-235-3822)、はがきでお知らせください。事務局は現在、午前中は閉めておりますので、平日は午後2時から7時頃にお電話ください。

結婚相談

ご希望の方は申し込み用紙を
電話またははがきで
ご請求ください。
年齢、性別、学歴等は
問いません。

TEL.026-235-3822
長野市上松1-16-12
長野高等学校同窓会
結婚相談室